

大進自動車工業有限公司

2024年度環境経営レポート
(第17版)

運用期間;2024年9月～2025年8月

作成年月日:2025年11月 6日

環境経営方針

〈環境理念〉

大進自動車工業有限会社は、山梨県甲府市にあり、環境保全を行う企業としての活動が地域及び地球環境に与える影響を配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例等、わが社が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - ③節水の推進に努めます。
 - ④地域での環境活動に積極的に参加します。
3. 環境経営の継続的改善に努めます。
4. この環境経営方針は、全社員に周知します。

改定日：2023年9月22日

大進自動車工業有限会社

代表取締役社長

齋藤 哲治

1. 登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名
大進自動車工業有限会社（設立年月：1996年9月）
代表取締役 齊藤 哲治

(2) 所在地

事業所名	郵便番号	所在地
本社・工場	400-0042	山梨県甲府市高畑2丁目8番8号
大里店	400-0053	山梨県甲府市大里町126-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 環境管理責任者 齊藤 哲治
担当者 齊藤 麻里
本社・工場 TEL：055-224-4681
FAX：055-224-4681
大里店 TEL：055-241-0280
FAX：055-241-0281
E-mail :daisin@nifty.com

(4) 事業内容（認証・登録の範囲）
自動車整備、自動車板金塗装、自動車販売、自動車保険販売

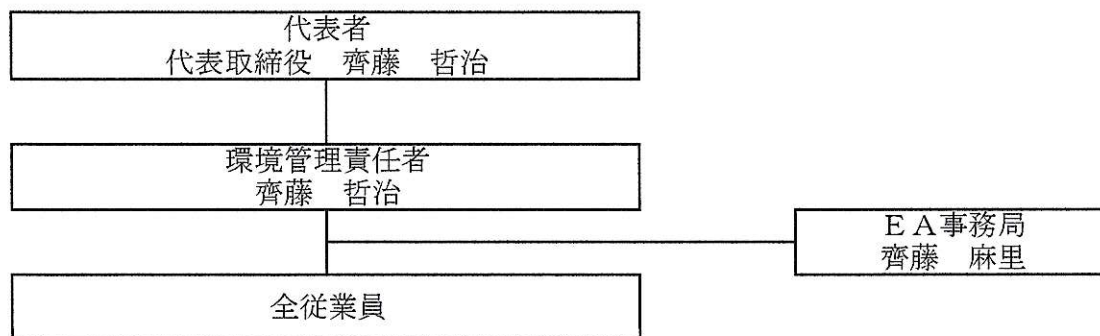
(5) 事業の規模

資本金 300万円
売上高 96,000 万円（2023年9月1日～2024年8月31日）

従業員 14 名
延べ床面積 本社・工場 1,300㎡
大里店 600㎡

(6) 事業年度 9月～8月

(7) 環境経営システム組織図



2. 環境負荷の実績

本社・工場

項目	単位	2023年度 (基準年度)
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年度	18,794.74
産業廃棄物排出量	kg/年度	312.00
一般廃棄物排出量	kg/年度	319.20
水道使用量	m ³ /年度	743.00

大里店

項目	単位	2023年度 (基準年度)
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年度	56,542.24
産業廃棄物排出量	kg/年度	254.40
一般廃棄物排出量	kg/年度	267.70
水道使用量	m ³ /年度	275.00

3. 環境目標 (本社・工場)

項目	年度	2023年	2023年	2024年	2025年
		基準年度	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	12,476.56	12,351.79 99%	12,227.03 98%	12,102.26 97%
軽油及びガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	3,381.36	3,347.55 99%	3,313.73 98%	3,279.92 97%
灯油及びLPGの二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,936.82	2,907.45 99%	2,878.08 98%	2,848.72 97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	18,794.74	18,606.79	18,418.85	18,230.90
産業廃棄物排出量の現状維持	kg	312.00	312.00 100%	312.00 100%	312.00 100%
一般廃棄物排出量の現状維持	kg	319.20	319.20 100%	319.20 100%	319.20 100%
水使用量の削減	m ³	743.00	735.57 99%	728.14 98%	720.71 97%
サービスに関する項目	%	30.0以上	30.0以上 100%	30.0以上 100%	30.0以上 100%
地域清掃活動への参加			実施	実施	実施

4. 環境目標（大里店）

項目	年度	2023年	2024年	2025年	2026年
		基準年度	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	19,107.76	18,916.68 99%	18,725.60 98%	18,534.53 97%
軽油及びガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	29,996.85	29,696.88 99%	29,396.91 98%	29,096.94 97%
灯油及びLPGの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	7,437.63	7,363.25 99%	7,288.88 98%	7,214.50 97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	56,542.24	55,976.82	55,411.40	54,845.97
産業廃棄物排出量の現状維持	kg	254.40	254.40 100%	254.40 100%	254.40 100%
一般廃棄物排出量の現状維持	kg	267.70	267.70 100%	267.70 100%	267.70 100%
水使用量の削減	m ³	275.00	272.25 99%	269.50 98%	266.75 97%
サービスに関する項目	%	30.0以上	30.0以上 100%	30.0以上 100%	30.0以上 100%
地域清掃活動への参加			実施	実施	実施

5. 環境活動計画及びその実績（本社・工場）

項目	年度	2023年	2024年		評価
		基準年度	目標	実績	
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	12,476.56	12,351.79	13,465.76	×
軽油及びガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	3,381.36	3,347.55	4,206.90	×
灯油及びLPGの二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,936.82	2,907.45	3,366.49	×
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	18,794.74	18,606.79	21,039.15	×
産業廃棄物排出量の現状維持	kg	312.00	312.00	312.00	○
一般廃棄物排出量の現状維持	kg	319.20	319.20	319.20	○
水使用量の削減	m ³	743.00	735.57	889.00	×
サービスに関する項目	%	30.0以上	30.0以上	38.4%	○
地域清掃活動への参加			実施	実施	○

（注1）当社の電力は、出光興産、中央電力から購入しております。
従いまして、二酸化炭素排出量を把握する際に用いた、購入電力の排出係数は0.468 kg-CO₂/kWh（出光興産）、0.426 kg-CO₂/kWh（中部電力）としました。

（注2）サービスに関する項目は再生部品利用率を表しています。

6. 環境活動計画及びその実績（大里店）

項目	年度	2023年	2024年		評価
		基準年度	目標	実績	
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	19,107.76	18,916.68	17,358.58	○
軽油及びガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	29,996.85	29,696.88	34,707.14	×
灯油及びLPGの二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	7,437.63	7,363.25	5,335.86	○
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	56,542.24	55,976.82	57,401.58	×
産業廃棄物排出量の現状維持	kg	254.40	254.40	254.40	○
一般廃棄物排出量の現状維持	kg	267.70	267.70	267.70	○
水使用量の削減	m ³	275.00	272.25	354.00	×
サービスに関する項目	%	30以上	30以上	39.9%	○
地域清掃活動への参加			実施	実施	○

（注1）当社の電力は、出光興産、東京電力エネルギーパートナー、中央電力から購入しております。

従いまして、二酸化炭素排出量を把握する際に用いた、購入電力の排出係数は0.468 kg-CO₂/kWh（出光興産）、0.426 kg-CO₂/kWh（東京電力エネルギーパートナー）ナ0.442 kg-CO₂/kWh（中部電力）としました。

（注2）サービスに関する項目は再生部品利用率を表しています。

7. 環境活動の取り組み結果とその評価（本社・工場）

9月～8月までの目標とその実績について、その評価を行った。

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価（結果と今後の方向）
	基準年度	実績		
電力の二酸化炭素排出量削減 ・冷暖房の控えめな使用 （冷房28℃ 暖房20℃） ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・行程ロス削減による稼働時間の短縮	基準年度	12,476.56	kg-CO2	目標未達成
	目標	12,351.79	99%	こまめなON, OFFや冷暖房温度の適正化等を行ったが、環境経営目標が達成されなかった。 今後は、行程ロス削減など、更なる二酸化炭素排出量の削減に取り組むこととする。
	実績	13,465.76	109%	
軽油及びガソリンの二酸化炭素排出量削減 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急発進・急加速の抑制	基準年度	3,381.36	kg-CO2	目標未達成
	目標	3,347.55	99%	アイドリングストップなどをこまめに実施したが、環境経営目標を達成できなかった。 今後もエコ運転に取り組み更なる二酸化炭素の排出量の削減に取り組むこととする。
	実績	4,206.90	126%	
灯油及びLPGの二酸化炭素排出量削減 灯油の使用方法の確認	基準年度	2,936.82	kg-CO2	目標未達成
	目標	2,907.45	99%	灯油の使用量が増加したことにより、環境経営目標を達成できなかった。
	実績	3,366.49	116%	
産業廃棄物排出量の現状維持 ・分別ボックスの設置 ・廃油のリサイクル化の推進 ・古紙のリサイクル化	基準年度	312.00	kg	目標達成
	目標	312.00	100%	廃油のリサイクル化等に取り組んだ結果、目標を達成した。
	実績	312.00	100%	
一般廃棄物排出量の現状維持 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用	基準年度	319.20	kg	目標達成
	目標	319.20	100%	新聞紙などは塗装用として使用するなど、リサイクル活動及び分別活動を進めたことにより成果が現れた。
	実績	319.20	100%	
水使用量の削減 ・手洗い水量の適正化 ・洗車水の適正使用	基準年度	743.00	m ³	目標未達成
	目標	735.57	99%	洗車車両の増大が原因と思われるが、更なる環境経営目標を達成するような活動が必要。
	実績	889.00	121%	
サービスに関する項目（再生部品利用率）	基準年度	30.0以上	%	目標達成
	目標	30.0以上	100.0%	再生部品を積極的に紹介・斡旋を行った結果、環境経営目標を達成した。
	実績	38.4%	140.3%	
地域清掃活動への参加	基準年度	実施		目標達成
	目標	実施		今後も取り組みこととする。
	実績	実施		

8. 環境活動の取り組み結果とその評価（大里店）

9月～8月までの目標とその実績について、その評価を行った。

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比	評価（結果と今後の方向）
	基準年度			
電力の二酸化炭素排出量削減 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・行程ロス削減による稼働時間の短縮	基準年度	19,107.76	kg-CO2	目標未達成
	目標	18,916.68	99%	こまめなON, OFFや冷暖房温度の適正化等を行ったが、環境経営目標が達成されなかった。 今後も、更なる二酸化炭素排出量の削減に取り組むこととする。
	実績	17,358.58	92%	
軽油及びガソリンの二酸化炭素排出量削減 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急発進・急加速の抑制	基準年度	29,996.85	kg-CO2	目標未達成
	目標	29,696.88	99%	エコドライブの実践などに取り組んだが目標を達成できなかった。 遠方のお客様が増えたことにより、環境経営目標を達成できなかった。
	実績	34,707.14	117%	
灯油及びLPGの二酸化炭素排出量削減 灯油の使用方法の確認	基準年度	7,437.63	kg-CO2	目標達成
	目標	7,363.25	99%	灯油の使用方法について見直したことにより、環境経営目標を達成できた。
	実績	5,335.86	72%	
産業廃棄物排出量の現状維持 ・分別ボックスの設置 ・廃油のリサイクル化の推進	基準年度	254.40	kg	目標達成
	目標	254.40	100%	廃油のリサイクル化等に取り組んだ結果、目標を達成した。
	実績	254.40	100%	
一般廃棄物排出量の現状維持 ・分別ボックスの設置 ・裏紙使用 ・古紙のリサイクル化	基準年度	267.60	kg	目標達成
	目標	267.60	100%	新聞紙などは塗装用として使用するなど、リサイクル活動及び分別活動を進めたことにより成果が現れた。
	実績	267.60	100%	
水使用量の削減 ・手洗い水量の適正化 ・洗車水の適正使用	基準年度	275.00	m ³	目標未達成
	目標	272.25	99%	4月から異常な水使用量であることから、漏洩を確認した。
	実績	354.00	130%	
サービスに関する項目（再生部品利用率）	基準年度	30.0以上	%	目標達成
	目標	30.0以上	100.0%	再生部品を積極的に紹介・斡旋を行った結果、環境経営目標を達成した。
	実績	39.9%	152.3%	
地域清掃活動への参加	基準年度		実施	目標達成
	目標		実施	今後も取り組みこととする。
	実績		実施	

9. 次年度の取組

次年度も本年度と同様以下の内容について取り組むこととする。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②一般廃棄物排出量の現状維持
- ③産業廃棄物排出量の現状維持
- ④水使用量の削減
- ⑤サービスに関する項目（再生部品利用率の向上）
- ⑥地域清掃活動への参加

10. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果並びに、 違反、訴訟等の有無

当社が対象となる環境関連法規は下水道法、悪臭防止法、廃棄物処理法及び使用済自動車の再資源化等に関する法律です。

これらの法令についての順守状況を確認したところ、適法に運用されているとの結果を得ました。

また、当社に係る違反、訴訟等はありませんでした

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

11. 代表者による全体評価と見直し結果

2024年9月～2025年8月まで実施してきた環境目標や環境活動計画についての進捗状況の報告を受け次の事項を指示しました。

1. 本社・工場の二酸化炭素排出量の環境経営目標が未達成であった。今後の環境保全活動についてその内容を検討すること。
2. 環境活動を更に実践し、地域に貢献すること。

12. その他の取り組みを紹介

地域の清掃活動など毎朝工場内の清掃と合わせて、周辺の清掃活動を実施しております。



我が社は山梨県地球温暖化対策条例第11条第3項の規定に基づき、温室効果ガス排出抑制計画を策定し、県より「温室効果ガス排出抑制計画チャレンジ事業者」として認定されています。